

ChatGPT ビジネス活用マニュアル

目次

- ChatGPTとは
- ChatGPT使用時の注意点
- ChatGPTから最高の回答を引き出す12のテクニック

ChatGPTとは

Chat GPTは、人工知能(AI)の一種で、自然言語処理能力の分野に秀でたプログラムです。簡単にいうと、人間のように会話や文章を生成できるロボットの事です。

Chat GPTを使うと、自然な文章や会話を作成することができ、質問をすると適切な返答を生成してくれます。Chat GPTは、Web上にある膨大な自然言語データを学習して、日々スキルアップしています。自主学习機能をもつ、超優秀で高機能な次世代チャットボットと考えるとわかりやすいでしょう。

Chat GPTは、既に様々な場面で活用されはじめています。例えば、自動翻訳や文書の要約、音声認識、チャットボット、AIアシスタントなどは実際の活用用途の一例です。

今後Chat GPTは、将来的にもっと高度な機能を持つことが期待されています。そして、私たちの日常生活やビジネス、社会において大きな影響を与えることが予想されています。

ChatGPT使用時の注意点

ChatGPTは、高度な自然言語処理能力を持った人工知能です。多様な分野で活用されていますが、注意点もあります。特に、人工知能や機械学習を利用するツールは、予期しない結果を生むことがあります。そのため、使用前に注意点を十分理解することが大切です。

ここでは、ChatGPTをビジネス活用する上で特に注意すべき要素をまとめました。

情報の正確性

ChatGPTなどのAIツールが生成する文章は、あくまでも大量のデータを元に自動生成されたものであり、情報の正確性が保証されているわけではありません。

特に、ChatGPTが学習したデータが誤った情報を含んでいた場合、その情報をもとに自動生成された文章も誤った情報を含んでしまう可能性があるため要注意です。

そのため、ChatGPTをビジネス活用する際には、情報を配信してしまう前に、まずは一度、生成された文章に対して適切な事実検証を行うことが重要です。信頼できる情報源から情報の裏付けを行うなどのアクションをとり、手に入れた情報の正確性を確認した上で利用するようにしましょう。

著作権の注意点

AIによって生成された文章の著作権については、法律上の問題が生じることがあります。通常、AIは「思想又は感情」を持たないため、ChatGPTなどのAIツールが生成したコンテンツは「著作物」とみなされないとされています。

しかし、ChatGPTは大量の自然言語データを学習しており、その過程で膨大な量の著作物が使用されているため、学習に用いたテキストデータには著作権が存在する文章も含まれることがあります。これは、ChatGPTを利用して自動生成された文章が、他人が著作権を持つ文章と同じ内容や非常に類似した表現になってしまう可能性があるからです。

例えば、ChatGPTがインターネット上から収集したテキストを学習して生成した文章が、他の著作物と酷似していた場合、著作権侵害となります。

具体的な例を出すと、商品説明文の場合、ChatGPTを使用して生成した文章が、他社の商品説明文と類似していた場合、著作権侵害となる可能性があるため、注意が必要です。

このような状況が発生した際には、著作権侵害とみなされることがあるので注意しましょう。ChatGPTをビジネス活用する際には、文章をそのまま使わず、自分の言葉に書き換えて使用するなどの対策を取ることで、著作権に関する問題に十分注意し、適切な対応を行うことが重要です。

個人情報漏洩のリスク

ChatGPTは、自然言語処理能力を備えた人工知能であり、Web上の大量の自然言語データを学習することで会話や文章を生成します。しかし、この学習データには、個人情報が含まれ

る可能性があります。また、ChatGPTが生成する文章にも、ユーザーの個人情報が含まれる可能性があります。

したがって、ChatGPTをビジネス活用するには、個人情報の保護に十分な注意が必要です。例えば、ChatGPTを利用するには、会話の記録やログの保存を適切に管理する、顧客の情報をChatGPTに安易に入力しない、また、個人情報をChatGPTに入力する前には適切な暗号化などの対策に着手する、などといったことが必要になる場合もあります。

不適切な情報やバイアス拡散のリスク

ChatGPTは大量の自然言語データを学習して生成されたモデルであるため、潜在的にバイアスが存在する可能性があります。以下にChatGPTが引き起こしうるバイアスのリスクの例を挙げます。

例えば、過去にChatGPTは、ドナルド・トランプ元大統領のポジティブな面に関するポエムを書くことを拒否した後に、バイデン大統領に関してのポジティブなポエムを書くことには応じたというパフォーマンス結果があります。これにより、チャットボットが政治的に偏っているという非難が巻き起こりました。

これは一例ですが、このように、ChatGPTが学習の際、誰のどのような思想が含まれるテキストを使って情報収集をしたかによって、オリジナルコンテンツを作った人間によるバイアスが含まれる可能性があります。

上記の政治的な思想以外にも、性別や人種に基づくステレオタイプなど、様々なステレオタイプが含まれる可能性があるため、情報の選択に気を付けましょう。

ChatGPTから最高の回答を引き出す12のテクニック

具体的でエッジの聞いた質問をする

ChatGPTに、SNSや記事の投稿アイデアのリストを依頼する際、「〇〇〇の投稿アイデアをください」というように抽象的な質問をするのは簡単ですが、そのような一般的な質問をしてしまうと、一般的な回答しか返ってこない可能性が高いです。

逆に、具体的な質問を与えれば与えるほど、ChatGPTの返答もより具体的になる傾向が高まります。

箇条書きや鉤括弧を使って可能な限り多くの情報をChatGPTに提示しましょう。

また、一般的な回答を避けるためには、ニッチなトピックに焦点を当てたり、聞き慣れたトピックに関して新しい視点やアイデアを返答してくれるように依頼すると効果が高まる傾向があります。それに加え、具体的にどのような返答が欲しいかを詳しく質問すると、より適切な回答を受け取ることに繋がります。

プロンプト例

X→Instagramのフォロワーを増やす方法に関する記事のテーマアイデアをください。

O→『フォロワーを増やす』と言うジャンルで配信をしているブログサイトの記事のテーマ案を15個ください。読者層は、現在インスタ運用を毎日頑張っているけれど、なかなかフォロワーが増えずに悩んでいる30代~50代の起業家男女です。マーケティング知識はあるけれど、SNSに関する知識が乏しく理解に苦しんでいます。そのような人たちの関心を引くテーマでアイデアをください。タイトルには衝撃の事実を含むようにしてください。

抽象的な単語は定義を明確にする

文章内で使用している単語の定義が曖昧な場合は、語句の定義を質問ないで明確にしましょう。そうすることで、ChatGPTにより正確な情報を伝えることができ、求めている回答を受け取ることに繋がります。

プロンプト例

X→インスタでバズる投稿のテーマ案をください。配信ジャンルは『〇〇〇』です。

O→インスタでバズる投稿テーマをください。配信ジャンルは『〇〇〇』です。ここでの『バズる』と言う単語の定義は、1万人以上の人がいいねをくれる魅力的で興味を刺激できる内容の投稿テーマのことをさします。

好みの文章スタイルでの回答を促す

どのような雰囲気や文章スタイルで回答して欲しいかをあらかじめ指定することで、単調な返答ではなく、よりコミカルでリズム感に飛んだ文章での回答を得ることができます。

プロンプト例

コーヒー健康面に対するメリットをシェイクスピア風に回答してください

回答形式を指定する

文脈の長さや、使って欲しい文字数、段落数など、回答形式をあらかじめ指定しておくことで、リクエストに添った内容での返答を得ることが可能です。

プロンプト例

読書のメリットを3段落構成の作文形式で作成してください。全体の文章の長さは1500文字をお願いします。『小説』『物語』『読解力』と言う3種類の単語を文章中で各2回ずつ使ってください。

特定のプラットフォームへの記載形式で回答をしてもらう

あらかじめ文章構成フォーマットを指定して質問をすることで、特定のSNSやウェブプラットフォームで使用できる形式での回答を得ることが可能です。

プロンプト例

『自宅でできる美白ケア』と言うトピックで、3000文字のブログ記事をかいてください。

- 各セクションにはH2タグを使用してください。
- 強い説得力のある言葉を使用してください。

- 段落間を移行するために質問を使用してください。
- 主なポイントを証拠、例、物語で裏付けてください。

特定場面のシミュレーションを依頼する

ChatGPTはシミュレーション能力に優れています。

面接官役や顧客役になってもらうことで、営業シーンなど、様々な場面のシミュレーションなど
ができます。

あらかじめChatGPTを使ってスキルトレーニングを行うことで、見込み顧客から来る可能性が
高い質問などにもあらかじめ備えておくことが可能になります。

プロンプト例

営業面談の練習をしたいので、購入検討を迷っている顧客の役をしてください。

私は、SNSマーケティング知識を教えるオンラインスクールを販売している起業家です。販売
している商品の価格は30万円で、一度入会すると6ヶ月間グループセッションと動画講座で
のサポートを受けることができます。私との会話のみ行ってください。質問をして私の回答を
待ってください。

別の視点からの回答をリクエストする

質問の仕方を工夫することで、一般的な読者が持っている常識や前提を問い詰めるような内
容での回答を生成することも可能です。

また、既に一度ChatGPTから得た回答に対して、もう一度違う視点から回答してもらうように促
すと、別の切り口からの回答を得ることもできます。

一般的な考え方に反する挑戦的なアイデアをChatGPTに探してもらい、画期的なアイデアに
触れることができる回答を導き出して行きましょう。

プロンプト例

トピック: Twitterフォロワーの増やし方

『Instagramのフォロワーの増やし方』というトピックに関して、通常一般的に知られている主流の説明とは異なる例を挙げてください。前提を問い直す思考を刺激するコンテンツのアウトラインを生成してください。

誰に向けた回答なのかを明確にする

特にマーケティング用の文章を作成する際は、ターゲット層がどのようなグループかによって、相手の感情を刺激するキーワードや伝わり方が違ってきます。

あらかじめ、誰に向けて文章を作成しているのか、ターゲット層を明確化することでより適切な文章レベルでの回答を手に入れることが可能になります。

プロンプト例

ChatGPTとは何かを、小学5年生でもわかる内容で詳しく説明してください。

スキル向上のトレーニングをする

ChatGPTを活用すると、起業家の必要な様々なソフトスキルを磨くこともできます。

プロンプト例

経営者としてのリーダーシップを磨きたいです。従業員とのやり取りの中でリーダーシップスキルが試される状況を想定し、私をトレーニングしてください。私が経営者、あなたが従業員という役割で、挑戦的な状況下を想定し、私と会話のやりとりをしてください。私に質問をし、私の会話を待ってください。

マインドマップを作成してもらう

ChatGPTを活用してマインドマップを作成することもできます。

NEXT LEVEL BIZZ, INC.

ChatGPTは自然言語処理に特化したAIであるため、現時点(2023年)ではマインドマップを作成するためのグラフィカルなインターフェースを持ちませんが、言葉やアイデアを中心にして関連する概念や情報を結びつけることが可能です。

以下の例のような質問を投げかけることで、マインドマップ形成のアイデアを得ることができます。

プロンプト例

『ニキビケア』というテーマでマインドマップを作成してください。中心となるメインアイデア、そして、そこから派生するサブアイデアを全てリストアップしてください。

カスタマーサポート用の返信テンプレートの作成

ChatGPTに、提供しているビジネス概要とサービス詳細を伝え、予測できる顧客からのよくある質問を聞くことで、あらかじめカスタマーサポートの返信用テンプレートを作成しておくことが可能になります。

毎回返信を準備する手間が省けるため、ビジネスの効率化に繋がることができます。

プロンプト例

ライフコーチングサービスを提供するビジネスをしています。サービス内容は60分のZOOMセッションです。1セッション1万5000円で提供しています。考えられる顧客からのお問い合わせ内容をリスト化してください。そして、各質問への回答も準備してください。

コンテンツカレンダーの生成

SNSやその他ウェブプラットフォーム上で配信する投稿アイデアが思い浮かばない場合も、ChatGPTの力を借りてブレインストーミングすることができます。

NEXT LEVEL BIZZ, INC.

また、この際スプレッドシート形式で回答するようにリスエストを出すことで、1分で30日分のコンテンツカレンダーを生成することが可能です。

プロンプト例

『食事制限をしないダイエット』というテーマで、減量したいというニーズを持っているオーディエンスへ向けて投稿するInstagramコンテンツ30日分のアイデアをください。驚愕の事実を含む、視聴者がクリックしたくなるテーマで作ってください。そして、日付と曜日毎にスプレッドシート形式で回答を表示してください。

本コンテンツは、Next Level Bizz, Inc.に著作権があります。
複製や許可のない使用は禁止です。